

第206回AC・Net例会（講演会）のご案内

言語習得の脳科学

Date/日時 平成26年12月17日（水） 13:40~14:30

Place/会場 NICT 未来ICT研究所 第一研究棟 2F「大会議室」

Language/使用言語 日本語

Abstract/概要

近年の神経画像学の成果をもとに脳の発達について概説し、学齢期・思春期の母語、外国語（英語）の習得過程を、音、単語、文法処理の脳機能研究のデータを紹介しながら解説する。科学的な根拠にもとづいたより効果的な教育法とは何かについて検討する。

Speaker/講演者

萩原 裕子 氏

首都大学東京 大学院 人文科学研究科 教授

Biography/経歴

マッギル大学大学院博士課程終了 Ph.D.（言語学）、金城学院大学文学部助教授、東京都立大学人文学部助教授などを経て、首都大学東京大学院人文科学研究科教授。文部科学省中央教育審議会教育課程部会専門委員、JST/RISTEX『脳科学と教育』研究代表者等を歴任、2014年9月より首都大学東京「言語の脳遺伝学研究センター」センター長。著書に『脳にいだむ言語学』（岩波書店）他。市川三喜賞他受賞。専門は心理言語学、神経言語学、言語脳科学。